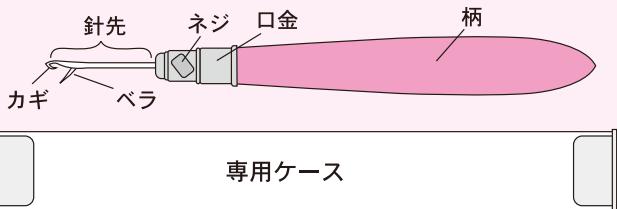


## ビーズクチュールニードル



## <準備>

### はじめる前に用意するもの

【枠】クロバー「ターンフープ(18cm)」もしくは、両手が自由に使えるスタンド式の刺しゅう枠。

【糸】ミシン糸など(右記「上手に使うヒント」を参照)。

【生地】最初はオーガンジーなど透ける素材で練習することをおすすめします。

「ターンフープ(18cm)」に張ることができるのは25×25cm以上のサイズです。

【ビーズやスパンコール】

糸に通ればどのようなビーズでも使用できます。あらかじめ糸に通しておきます。

【糸にビーズを通す用具】

ビーズが通る太さの針または、クロバー「フリーステッチングスレーダー」。

【図案を写す用具】

クロバー「水性チャコペン」または、「クロバーチャコピー」、トレーサー、セロファン紙、待針、トレーシングペーパー。

【その他】糸切はさみ、糸立て。

### 図案を写します

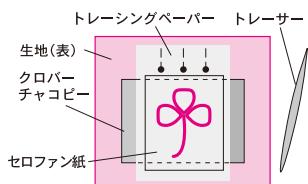
●オーガンジーなどの透ける素材には…

・実物大図案の上に生地を重ねて直接写します。  
“自然に消える”または“水で消える”クロバーの「水性チャコペン」で描くと便利です。

〈あると便利な道具〉  
クロバー「水性チャコペン」

●透けていない素材には…

- ① 実物大の図案をトレーシングペーパーに写します。
- ② 生地の表に図を写したトレーシングペーパーをのせ、待針で止めます。
- ③ 「クロバーチャコピー片面」を転写面を下にして生地とトレーシングペーパーの間にはさみます。
- ④ 上にセロファン紙を重ね、クロバー「トレーサー」で図案を写します。



#### 〈あると便利な道具〉

「クロバーチャコピー片面」  
「トレーサー」(手芸用鉄筆)  
トレーシングペーパー  
セロファン紙  
待針

### 枠に生地を張ります

クロバー  
「ターンフープ(18cm)」



生地の張りが弱いとステッチがきれいに刺せません。  
ピンとしっかり張ります。

クロバー株式会社

### 針先のセット方法



## ビーズクチュールニードル 説明書 表面 / 左

※サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の▲・▼印と合わせてお使い下さい。

### Q: 適した糸は?

A: 25番刺しゅう糸3本取り程度までの太さで、強ます。スパンコールやビーズを刺す時は、ミシめします。(別売のクロバー「ビーズクチューチェーンステッチ」を刺す時には、25番刺しゅう糸取り程度までの太さの糸をお使い下さい)。

### Q: 適さない糸は?

A: 25番刺しゅう糸の場合、1本取りでは、糸の強で使用しないで下さい。また、テグスなど腰のカギからはずれやすいので使えません。

### Q: 適した生地は?

A: 最初は手の動きが見える、オーガンジーなど透けます。目の詰まっている柔らかい、薄手ム、ジャガード、ツイードなど)ならほとんど※種類によって適さない場合があります。

### Q: 適さない生地は?

A: 目の詰まつたかたい生地(ブロードや厚手のデ釣先を傷めるおそれがあります。また、Tシャツをおそれがあります)。

### Q: 適さない生地や枠に張れない既製品

A: オーガンジーなどに刺しゅうしたものをアップ後、ひとまわり大きく生地をカットし、生地

### Q: 使用する刺しゅう枠は?

A: 両手を使う刺しゅうなので、枠を固定する必要クランプやくけ台で机に固定して使うこともとなり、生地の裏面を容易に確認できません。別c m」は机に固定でき、手元で360度回転します。他にスタンド式の刺しゅう枠があれば使



枠とくけ台の間にあて布をあてます。

### Q: 刺す時のポイントは? (裏面ラインストラ

- ステッチしている時に、糸がはずれないようステッチの進行方向にベラの先が向くようにがはずれずに刺しゅうができます(裏面「**ポイント3**」)。
- カギが生地に引っかかった時は…  
作業を中断し、カギを生地からはずします。すると引っかかりません(裏面「**ポイント2**」)。
- カギが前のステッチのループに引っかかった作業を中断し、カギをループからはずしますながら刺すと引っかかりません(裏面「**ポイント1**」)

<使用上の注意>・針先は尖っていますので、取扱

<保管上の注意>・保管の際は、ケースに入れてお

・使用後は、針先を乾いた布で軽く

## ビーズクチュールニードルを上手に使うヒント

程度までの太さで、強度があり、しなやかな糸なら使えますを刺す時は、ミシン糸50~60番程度の糸をおすすめ、「ビーズクチュール糸」もあります。時には、25番刺しゅう糸3本取り、5番刺しゅう糸1本をお使い下さい。

1本取りでは、糸の強度が足りず切れるおそれがあるのまた、テグスなど腰の強い弾力性のある糸は、刺す時に使えません。

オーガンジーなど透ける素材で練習することをおすすめしない柔らかい、薄手の生地（シーチング、薄手のデニムなど）ならほとんどの生地に刺せます。場合があります。

（プロードや厚手のデニム、帆布など）に無理に刺すとります。また、Tシャツなどのニット地は、生地が切れ

### ■張れない既製品に刺しゅうしたい時は？

うしたものをアップリケするなどして下さい。刺しゅう地をカットし、生地端を折り返して縫い止めます。

### 穴は？

で、枠を固定する必要があります。普通の刺しゅう枠を固定して使うこともできますが、刺せるスペースが狭く確認できません。別売のクロバー「ターンフープ（18手元で360度回転するのでビーズクチュールに最適です）」が、枠があれば使用できます。

とくに「」の場合



をあてます。

クロバー「ターンフープ<18cm>」



ビーズクチュールに最適です。

### は？（裏面ラインステッチ 上手に刺すコツ）を参照

糸がはずれないようにするには・。ベラの先が向くように方向を合わせて刺していくと、糸ができます（裏面 ポイント1）。糸がたるまない程度に（裏面 ポイント3）。

った時は・。

地からはずします。針先を十分に刺してベラを出し切（裏面 ポイント2）。

レープに引っかかった時は・。

レープからはずします。糸がたるまない程度に軽く引きません（裏面 ポイント3）。

ていますので、取扱いにご注意下さい。

ケースに入れてお子様の手の届かない所に保管下さい。針先を乾いた布で軽く拭き、湿度の高い所での保管はお避け下さい。（錆びの原因となります）

- ・ベラが生地に刺さった時は・。

作業を中断し、丁寧にベラを生地からはずして、再度刺し直して下さい。無理に力を入れて、押し込んだり、引き抜いたりしないで下さい。破損の原因となります。

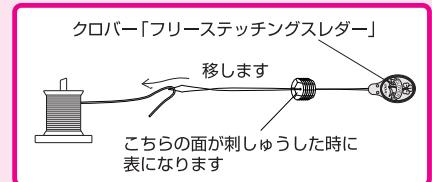
### Q：チェーンステッチをきれいに刺すには？

A：ステッチ幅よりも少し長めにループをふんわり引き出すようにして、糸を強く引きすぎないように注意します。糸を強く引きすぎたり、糸が太すぎると生地に引っかかり、うまくステッチできない場合もあります。糸を替える、ステッチの幅を変えるなど試してみて下さい。

### Q：スパンコールやビーズ（バラの状態のもの）をたくさん刺したい時は？

A：スパンコールやビーズ（パーツ）は、ミシン糸などに通してから使います。針もしくは、別売のクロバー「フリーステッチングスレーダー」を使って糸に通します。「フリーステッチングスレーダー」は、先端が丸いので安全に作業でき、パーツを通す線の部分が長いのでたくさんのパーツを通す時に、とても便利です。

- ① 手のひらにスパンコールをのせ、向きを合わせて何枚か重ね、スレーダーに通します。
- ② スレーダーの先端に糸を通します。
- ③ スレーダーに通っているスパンコールを糸に移します。



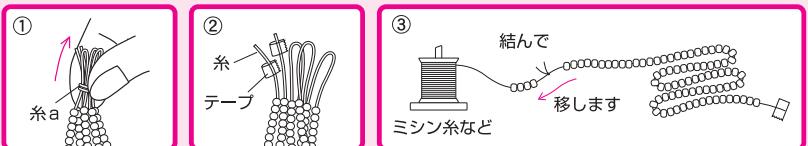
クロバー「フリーステッチングスレーダー」  
移します  
こちらの面が刺しゅうした時に表になります

### Q：ビーズをたくさん刺したい時は？

A：糸通し済みのビーズを使うと便利です。ビーズに通してある糸は弱いので、ミシン糸などに移し替えてから刺しゅうをします。

#### <糸通しビーズを移し替える方法>

- ① 糸を束ねている糸aを外します。（糸aを軽くつまんでゆっくり抜き取る）
- ② ビーズが抜けないように糸の先にテープを貼り、丁寧に束をほぐします。（無理に糸を引かずに、束の糸を1本ずつほぐします）
- ③ ミシン糸などにビーズを移します。



※からまないようにほぐします。

### Q：スパンコールに裏表はありますか？

A：亀甲タイプは凹側が表になります。デザインによって凸側を表にして刺してもかまいません。

### Q：あると便利なものは？

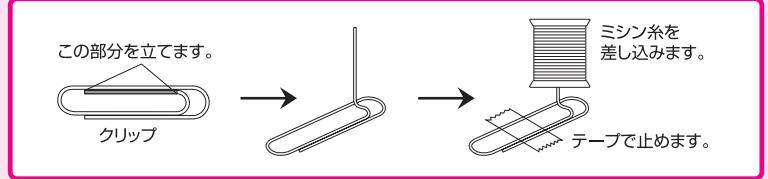
A：クロバー「糸切リング」（別売品）両手にニードルと糸を持ったまま、糸を切ることができますので、ハサミに持ち替える手間がなく作業がはかどります。



クロバー「糸切リング」

A：糸立て

糸が転がり、"絡まる"のを防ぎます。クリップでも代用できます。



この部分を立てます。

クリップ



ミシン糸を差し込みます。  
テープで止めます。

クロバー株式会社

〒537-0026 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様専用」TEL (06) 6978-2277  
070-405

ビーズクチュールニードル 説明書 表面 / 右

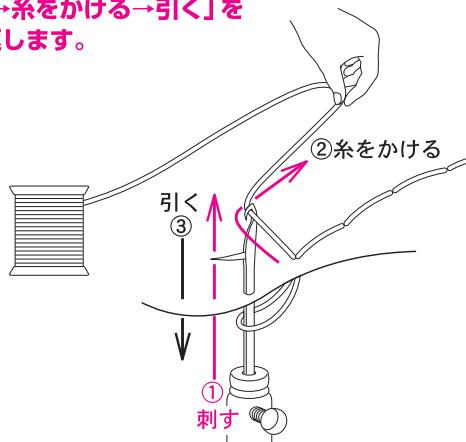
サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の「印と合わせてお使い下さい。

## ＜ステッチの方法＞

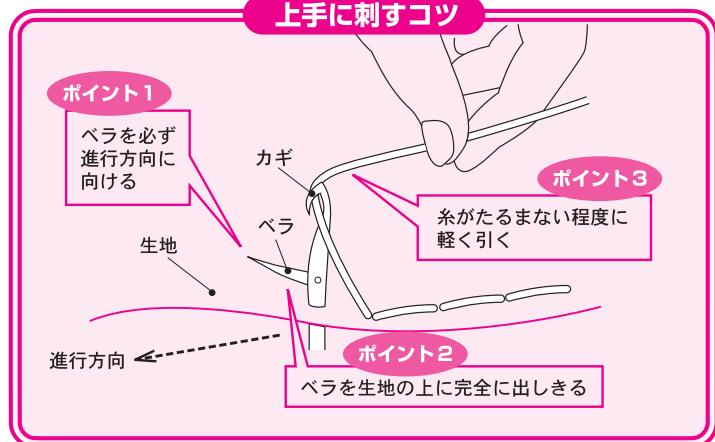
### ラインステッチ

基本のステッチを刺してみましょう！

「刺す→糸をかける→引く」を繰り返します。

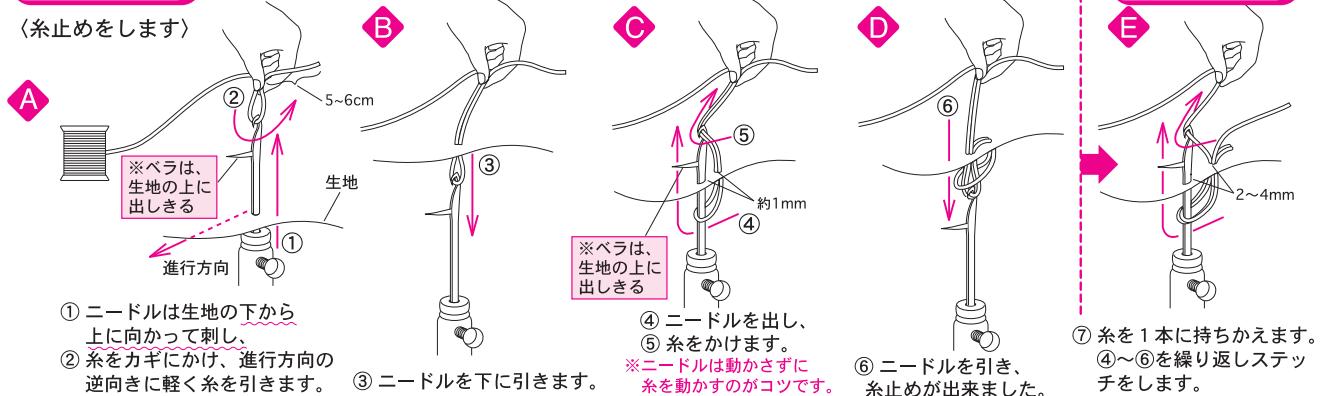


### 上手に刺すコツ



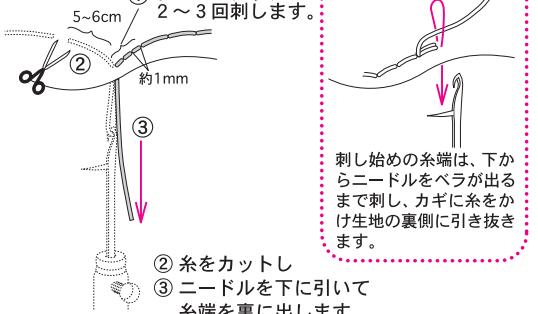
### 刺し始め

（糸止めをします）



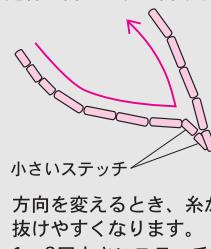
### 刺し終わり

（糸止めをします）

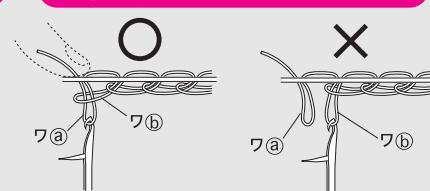


### 方向を変える時は

※進行方向にベラを向けます。

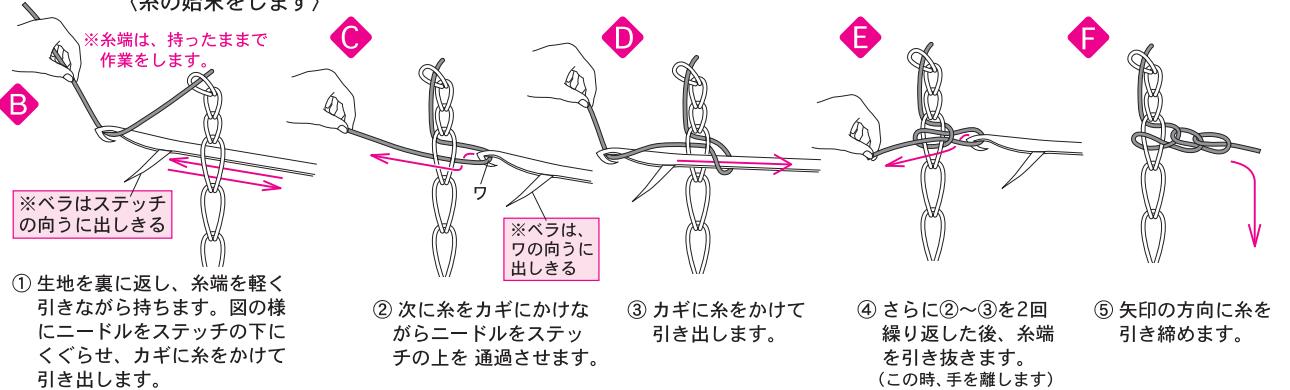


### 途中で糸がニードルから外れたら



### B 以降は、生地の裏側で作業します

（糸の始末をします）



クロバー株式会社

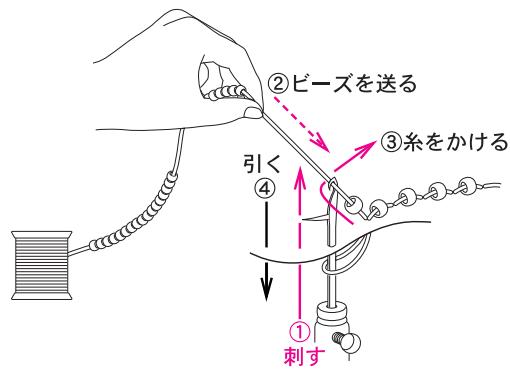
ビーズクチュールニードル 説明書 裏面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の印と合わせてお使い下さい。

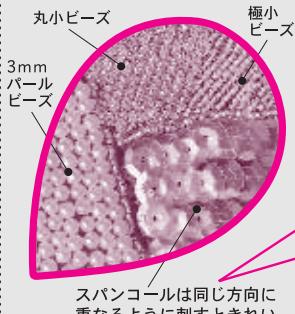
## ビーズステッチ ビーズやスパンコールを取付けてみましょう！

※ビーズを通した糸を用意します。

「刺す→ビーズを送る→糸をかける→引く」を繰り返します。



間隔を開けずにビーズを刺す時は、ビーズを2~3粒ずつ送り込みます。針先を刺す間隔を送り込むビーズの幅に合わせるようにします。

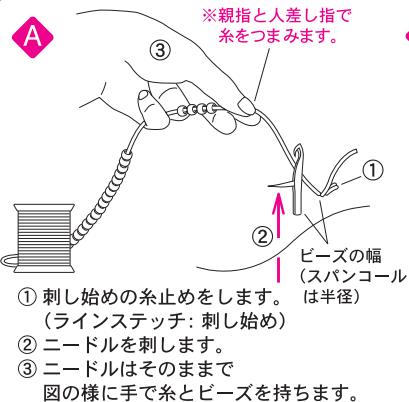


スパンコールを入れて一列刺し(①)、スパンコールを入れずに戻り(②)、(③)で再びスパンコールを入れて刺します。  
コーナーは、抜けないように小さなステッチに仕上がります。

※ラインステッチにビーズを送る作業が加わります。

最初は大きめのビーズ(丸大ビーズなど)で練習しましょう。スパンコールは、扱いやすい亀甲タイプで練習してから、フラットタイプにステップUPすると良いでしょう。

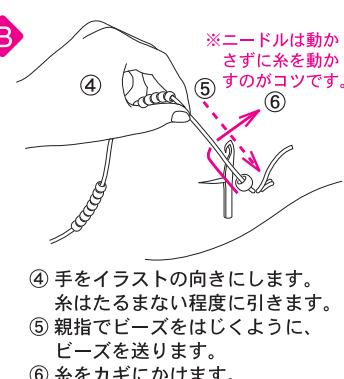
## A



- ① 刺し始めの糸止めをします。  
(ラインステッチ: 刺し始め)  
② ニードルを刺します。  
③ ニードルはそのまままで

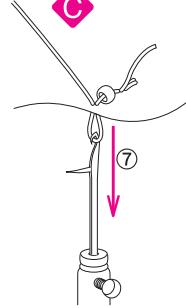
図の様に手で糸とビーズを持ちます。

## B



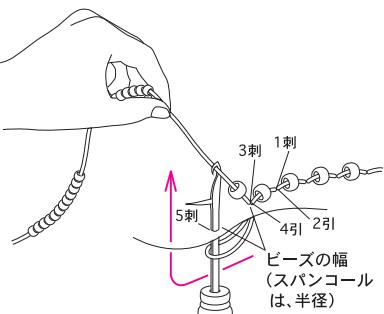
- ④ 手をイラストの向きにします。  
糸はたるまない程度に引きます。  
⑤ 親指でビーズをはじくように、  
ビーズを送ります。  
⑥ 糸をカギにかけます。

## C



⑦ ニードルを引きます。

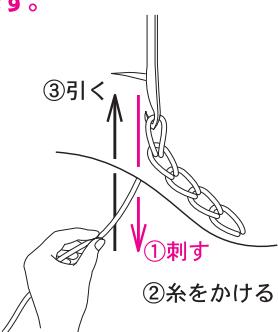
## D



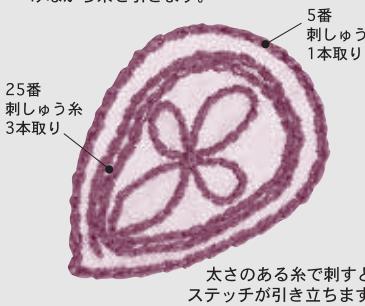
- ⑧ 次のステッチを刺します。  
「刺す→ビーズを送る→糸をかける→引く」を繰り返します。

## チェーンステッチ チェーンステッチを刺してみましょう！

ニードルは生地の上から下に刺します。

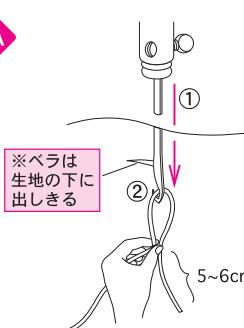


刺しゅう糸でチェーンステッチをしてみましょう。生地が引きつれないように気をつけながら糸を引きります。



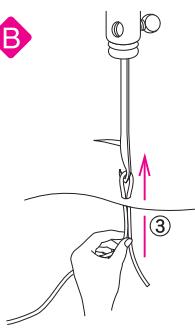
※ラインステッチの裏面がチェーンステッチになります。(チェーンステッチの作品をつくるには、生地の裏面に図案を(逆に)写し、ラインステッチで刺す方法もあります。)

## A



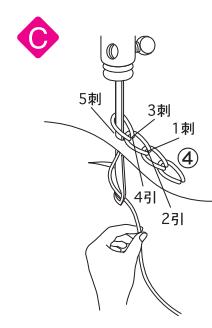
- ① 針は生地の上から下に向かって刺し、② 糸をカギにかけます。

## B



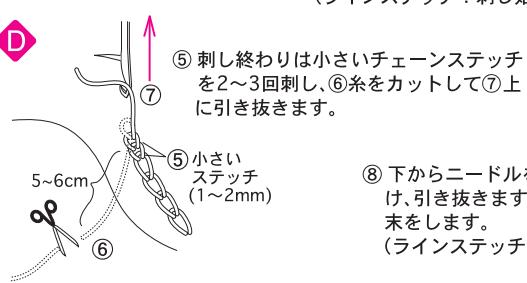
- ③ ニードルを引き上げます。  
刺し始めの糸止めをします。  
(ラインステッチ: 刺し始め)

## C



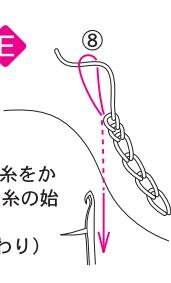
- ④ 繰り返すとチェーンステッチになります。

## D



- ⑤ 刺し終わりは小さいチェーンステッチを2~3回刺し、⑥糸をカットして⑦上に引き抜きます。

## E



- ⑧ 下からニードルを出して糸をかけ、引き抜きます。裏面で糸の始末をします。  
(ラインステッチ: 刺し終わり)